

ヘウレーカ!

なるほど、そうか

第27回

英国の最新ゴルフ経済規模推計額9300億円

— R&Aが推計 スポーツ消費の10%、粗付加価値額4800億円 —

喜田任紀



前号で米国のゴルフ振興への取り組みと経済規模について紹介しました。今回はゴルフ発祥の地、英国のゴルフ経済規模について紹介します。R&Aはゴルフの英国内における経済規模を取りまとめたA Satellite Account for Golf in the UKを今年発表しました。総頁数は33頁で、ゴルフへの消費金額やゴルフ人口、雇用関係など詳細な分析がされています。調査は2019年の実施のため新型コロナウイルス発生前の調査になります。このサテライトアカウントについては、スポーツ庁がスポーツ全般について調査していますが、ゴルフについて特別な表記はありません。ゴルフ業界で日本のゴルフ経済規模をまとめる場合、R&Aの手法は参考になると思います。

英国ゴルフ経済を見える化

R&Aの発表によると、ゴルフへの消費支出は51億6500万ポンド(9297億円、1£≒180円換算)で、国民1人当たりの支出額は77ポンド(約1万4000円)、ゴルフアー1人(成人)当たり964ポンド(17万4000円)※だったとしています。ゴルフ



フへの支出については項目別にまとめられており、この詳細については後述します。

付加価値としては、売り上げから原材料や仕入れ原価などを差し引いた粗付加価値額(GVA)を26億6600万ポンド(4799億円)と試算しています。R&Aは、ゴルフが観光産業や建設・不動産産業との関連を含めると経済規模は173億ポンド(3兆1000億円)に及ぶと推計しています。

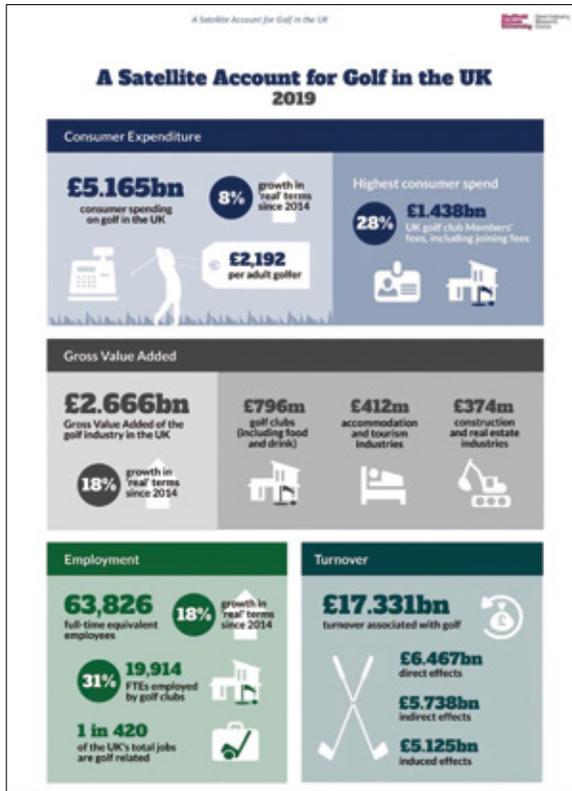
ゴルフに限定した経済規模の変化については前回調査(2014年)と比較して消費支出として実質8%の成長があり、GVAは18%もの伸びがあったとしています。雇用についてもGVAと同じ18%の増加があったとしています。こうした成長の結果、ゴルフ産業界からの納税額は13億1300万ポンド(2370億円)あるとし、

財政への貢献を強調しています。インバウンド効果については、3億3800万ポンド(609億円)と見積もっています。雇用でも3328FTE(フルタイム勤務での仕事量≒人数)の雇用を生んでいるとみています。

このレポートの中で、英国政府のスポーツ戦略に触れています。日本でもスポーツ庁は、スポーツ市場規模を2025年に15兆円に拡大する方針(これがKGI≒Key Goal Indicator、重要目標達成指標)で、英国政府もスポーツによる経済発展を挙げており、このKGIを達成するための取り組みとして、雇用指標やイベントの経済的影響をKPI(Key Performance Indicator、重要業績評価指標)として設定しています。

R&Aは、ゴルフ市場を数値によって把握しています。日本と違いゴルフ場利用税があるわけではありませんから、ゴルフ場の利用者数を常態的に把握する手段がありません。米国でNGFがゴルフ場等を対象にしたアンケート調査から全体を把握しているように、英国もアンケート調査に頼らざるを得ません。確実に把握できる数

※：レジャー白書2022によると、ゴルフアーの年間消費額はゴルフコースが13万5800円、ゴルフ練習場は2万7600円



ゴルフ参加の実態

字は、倶楽部に登録しているメンバーの人数となります。ここでゴルフへの参加実態がまとめられていますので紹介します。

ゴルフ参加率は、成人の9・9%で、4カ国別では、スコットランドが14・2%で最も高く、次いでイングランドが9・6%、ウェールズは9・5%、北アイルランドが9・0%です。1年に1回以上ゴルフをした成人人口は535万6000人と推計しています。

さすが英国ですかね、参加率は日本より高く、総人口は日本の半分強の6700万人ですから、やはりゴルフ愛好家が多い。

英国は会員数が把握できません。英国の会員数は88万9361人(2019年)です。ちなみにJGAのHDCCPインデックス取得者数は約53万人ですが、申請者を含めると約71万人です。英国の会員数がまだ多い、全員がインデックスを持っているかどうかは不明ですが、国別では、イングランドが62万

9000人で最も多く、次いでスコットランドが18万281人、ウェールズは4万2830人、北アイルランドが3万7250人。

男女別やジュニア会員の人数も把握できています。男性の構成比は北アイルランドが68%と7割を割っていますが、他は80%台前半です。北アイルランドは女性の構成比が19%と高く、他の国の女性構成比は10%前半です。ジュニアはイングランドが3%と低く、他は10%前後の構成比になっています。ゴルフアー全体を把握することは、アンケート調査に頼らざるを得ませんが、会員数の把握は登録制にすることで可能ですから、成長戦略に「熱心なゴルフアーの増加」を挙げるなら、数値目標の設定はできます。

さて、数字による把握方法は、R&Aのレポートが参考になると思います。スポーツ庁が同様なサテライトアカウントを作成していることから、共同で実施する方法はともかくとして、検討する価値はあると思います。R&Aのレポートでは手法が細かく説明されていますが、専門知識は必要です。

表1 登録会員数 (2019年)

	登録会員数	総人口に対する会員比	登録成人男性		登録成人女性		ジュニア会員	
			構成比	構成比	構成比	構成比		
イングランド	629,000	1.1%	525,215	84%	84,915	14%	18,870	3%
スコットランド	180,281	3.3%	143,403	80%	21,364	12%	15,514	9%
ウェールズ	42,830	1.3%	34,603	81%	5,221	12%	3,006	7%
北アイルランド	37,250	2.0%	25,400	68%	7,203	19%	4,200	11%
合計	889,361	1.3%	728,621	82%	118,703	13%	41,590	5%

出典：R&A ヨーロッパ参加に関する報告書。北アイルランドの会員数は、アイルランド全体の会員数と、アイルランドのゴルフ場の分布から算出されたものである。アイルランドのゴルフ場の約20%が北アイルランドにある (調査時点である2019年の為替レートは約140円でしたので3割ほど割り引いた規模になります)

ゴルフ消費額の詳細

9300億円のゴルフ消費の詳細について紹介します。日英のゴルフ文化の違いが少し見えてきます。

表2は、ゴルフ消費を項目別にまとめたものです。最も多い支出は会費および入会金でした。全消費（売上）の27・8%を占め、金額（円換算で表記します）2589億円でした。グリーンフィーは947億円で全体の10・2%です。次いで多いのは宿泊関係で871億円、ゴルフウェアが695億円、倶楽部での飲食が627億円、倶楽部でのゴルフ用品購入490億円、アクセサリ274億円、グローブ・バッグの購入244億円、ゴルフボール142億円、シューズが97億円、ゴルフ雑誌85億円と続き、海外ゴルフ観光は249億円でした。ところで、ベットの金額も出ています。ゴルフールのアマチュア規定（英語版）にはPrize（賞）の3cのGeneralの項にGambling or wageringが明記されています。JGAのルール担当者の方が、「さすがにここは外してもらった」と話されていましたが、

日本では賭博はご法度ですから、日本語のルールブックにはいくらか探しても見つかりません。英国は法律で厳しく内容が決まられています。ゴルフのベットは勝者へのご褒美として掛け金が存在します。その金額が441億円あると推計されているわけです。50年ほど前にゴルフの仕事を始めるときに、ゴルフ場でチョコレートが本場に

表2 英国のゴルフ消費者支出（2019年）

支出項目	金額（百万ポンド）	円換算（億円）	構成比
会費および入会金	1,438.30	2,589	27.8%
グリーンフィー（会員および観光客）	526.31	947	10.2%
宿泊施設 - 観光客	483.93	871	9.4%
ゴルフウェア	386.35	695	7.5%
倶楽部での飲食	348.52	627	6.7%
ゴルフ用品（倶楽部）	272.35	490	5.3%
ゴルフ関連ベット	245.06	441	4.7%
ゴルフ練習場とレッスン	233.89	421	4.5%
国内ゴルフホリデー（一部イベント含む）	173.78	313	3.4%
アクセサリ - その他	152.40	274	3.0%
機器のレンタル	150.58	271	2.9%
ライブイベント	145.85	263	2.8%
ゴルフ用品 - グローブとバッグ	135.66	244	2.6%
海外ゴルフ旅行	138.07	249	2.7%
ゴルフ用品（ボール）	78.77	142	1.5%
テレビとビデオレンタル、CATV、ライセンス	82.58	149	1.6%
ゴルフシューズ	54.15	97	1.0%
ゴルフ雑誌	47.36	85	0.9%
レクリエーションゴルフ	38.01	68	0.7%
チャリティ	11.66	21	0.2%
コークス、石油	10.81	19	0.2%
教育	6.92	12	0.1%
ゴルフの本とDVD	4.01	7	0.1%
合計	5,165.30	9,298	100.0%

換算レート：1£=180円

やり取りされてきました。キャデ
イさんへの心づけにもチョコがあ
ったように記憶しています。ま、
博打はダメですから、日本には存
在しない勘定項目です。

ゴルフ練習場やレッスンには4
21億円が支出されています。ゴ
ルフ競技などのライブイベントへ
の支出額は263億円です。

このように、誰でもわかる数字
で把握するとゴルフ経済の姿が見
えてくるわけです。日本はという
と、ゴルフ人口についてはレジャ
ー白書、スポーツ庁の調査、社会
生活基本調査の三つの数字があり
ます。複数あることは、ある意味
でいたく話ですが、問題は数字
をどう使うかです。ゴルフ振興の
目的をゴルフ人口（参加率）の増
加に置かならば、対策を実施した
結果を測る比較対象とする数値を
決めないと、ゴルフ振興対策の効
果を評価できないこととなります。
米国にはNGFが算出するゴルフ
人口とは別の人口があります。大
きな違いはないのですが、ゴルフ
業界はNGFの数字を基準にして
います。

JGAの中期計画に登場したK
PIは数値で成果を評価する項目

です。曖昧さを排除し、対策効果
を正しく評価して、その結果から
次の対策を講じるとい、PDCA
を回すような取り組みを支える
ものです。どの調査のゴルフ人口
が正しいという話ではなく、ゴル
フ業界として比較基準となる数字
を持たないと、自分たちの活動を
評価し、成果を次の活動に繋げら
れないのではないのでしょうか。

レポートではゴルフ消費だけで
なく、ゴルフアーの消費金額を含
めた直接効果を64億6700万ポ
ンド（1兆1641億円）、間接効
果を57億3800万ポンド（1兆
328億円）、波及効果51億250
0万ポンド（9225億円）と算
出、総額で173億3100万ポ
ンド（3兆1196億円）と見積
もっています。レポートでは具体
的な数字は出ていませんが、コー
ス管理や不動産関係など関連する
経済活動をすべて含めるとこの数
字になるらしい。

インバウンドの経済効果につい
ては、直接効果として3億380
0万ポンド（608億円）、総合
効果としては9億6000万ポンド
（1630億円）と見積もってい
ます。また、ユニークな数字とし

表3 ジ・オープン 2014-2019 への海外からの来場者数

年	コース名	延べ観客者数	ユニーク観客数	英国外 (%)	英国外人数
2014	ロイヤル リバプール	202,917	105,122	8.8%	9,301
2015	セント・アンドリュース	225,173	93,171	28.3%	26,367
2016	ロイヤル トルーン	173,134	86,883	15.4%	13,370
2017	ロイヤルパークデール	235,000	125,944	9.6%	12,149
2018	カーヌスティ	172,000	76,716	19.9%	15,298
2019	ロイヤル ポートラッシュ	223,250	87,223	19.2%	16,747
合計		1,231,474	575,059	16.2%	93,232

で、ゴルフのインバウンド効果と
して全英オープンの観客数がまと
められています。そして、R&A
やイングランドゴルフの従業員数
も公表されています。年収も出て
いるのですが、参考までにスタッ
フ人数は、R&Aの従業員数は2
21人（2014年より89人増）、
イングランドゴルフ協会146人
（同57人増）、スコットランドゴル
フ協会36人（増減なし）、ウェー
ルズゴルフ協会15人（1人減）。平
均年収は3万6708ポンド（6
97万円）。その他にも参考にな
る数字がいろいろまとめられてい
ます。サテライトアカウントにつ
いての理解を深める上でも、是非
とも目を通していただきたい資料
です。

R&A A Satellite Account for Golf in
the UK :
<https://assets-us-01.kc-usercontent.com/c42c7bf4-dca7-00ea-4f2e-373223f80f76/afa75982-d541-4d9f-a8fa-801b7eb811b5/A%20Satellite%20Account%20for%20Golf%20in%20the%20UK%20-%202023.pdf>

